

富津市文化財審議会会議録

1 会議の名称	平成 21 年度第 1 回富津市文化財審議会
2 開催日時	平成 21 年 4 月 28 日 (火) 14 時 00 分～15 時 30 分
3 開催場所	富津市役所 5 階 503 会議室
4 審議等事項	別添会議録及び資料のとおり
5 出席者名	審議会委員 野中 徹 小坂一夫 川名 興 鈴木順一 高梨 正 高橋 克 濱名徳順 筑紫敏夫 事務局 渡辺隆二 山中正弘 春木一夫 村石義夫 小沢 洋 桐村修司 伊藤伸久
6 公開又は非公開の別	公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7 非公開の理由	(理由)
8 傍聴人数	0 人 (定員 5 人)
9 所管課	教育部 生涯学習課 文化係 電話 80-1342 (2342)
10 会議録 (発言の内容)	別紙のとおり

上記会議の顛末を録し相違ないことを証するためにここに署名する。

平成 21 年 5 月 8 日

富津市文化財審議会

会 長 野 中 徹

委 員 小 坂 一 夫

文 化 財 審 議 会 会 議 録

発言者	発言内容
事務局	<p>・あいさつ。</p>
春木生涯学習課長	<p>公私共に何かとお忙しい中、ご参集いただきありがとうございます。本審議会委員総数 10 名、出席委員 6 名です。従って富津市文化財の保護に関する条例第 27 条第 2 項の規定により会議が成立したことを報告します。</p> <p>会議に先立ち、本年 4 月 1 日付けで教育委員会事務局の人事異動がありましたので、ここで紹介いたします。</p> <p>～自己紹介～</p> <p>それではただいまより平成 21 年度第 1 回富津市文化財審議会を開催いたします。議題に入るまでの間、事務局で会議を進めさせていただきます。渡辺教育長よりご挨拶申し上げます。</p>
渡辺教育長	<p>お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。</p> <p>日ごろより富津市の文化財行政にご尽力いただき厚くお礼申し上げます。ご承知のとおり富津市はなかなか財政状況の厳しい中にありますので、文化財行政が大きく前進するといったようにはならないのですが、できることを地道に続けながら、文化の薫り高い街づくりを少しずつでも進めていけたらと思っているところでございます。本日は各委員のご専門の立場から忌憚のないご意見をいただければ幸いです。</p>
春木生涯学習課長	<p>野中会長よりご挨拶いただきます。</p>
野中会長	<p>新しい年度を迎えての第 1 回目の会議となります。多忙な中、お集まりいただきありがとうございます。</p> <p>市の財政が逼迫している中、いかに文化財保護行政を遅滞なく運営していくか、手腕が問われているところです。公民館の各種教室等を活用したり、文化財の展示をとおして、今後は普及活動にも力を注いでいくことなどをしながら、審議会としても側面からバックアップしていきたいと思っておりますので、またよろしく申し上げます。</p>
春木生涯学習課長	<p>本日の会議資料について、小沢文化係長より説明させていただきます。</p>
小沢文化係長	<p>それでは本日の会議資料の確認をさせていただきます。</p> <p>～資料の確認～</p>

春木生涯学習課長	<p>市の公開条例に基づく当会議の公開について、説明いたします。</p> <p>～富津市情報公開条例に基づく公開の説明～</p> <p>これから先は野中会長に議事を進めていただきますので議長席へお願いいたします。</p>
野中会長	<p>会議に入る前に本会議の会議録の署名人を指名いたします。2名ということですので、わたくし野中と、もう1名は小坂委員にお願いいたします。よろしく申し上げます。</p> <p>では早速本日の議題に入りたいと思います。</p> <p>・議題(1)平成20年度文化財審議会事業報告について</p> <p>事務局より説明願います。</p>
小沢文化係長	<p>それでは資料の2頁をご覧ください。</p> <p>～資料をもとに事務局による説明～</p> <p>第1回目審議会を平成20年4月23日(水)に、市役所5階504会議室にて開催。議題としては5点。</p> <p>(1)平成19年度文化財審議会事業報告について (2)平成19年度文化財保護事業報告について (3)平成20年度文化財審議会事業計画について (4)平成20年度文化財保護事業計画について (5)その他</p> <p>第2回目は平成20年7月16日(水)に、市内の仏像を中心に視察研修を実施。場所は4か寺、8件を対象とした。</p> <p>(1)宝竜寺(木造十一面観音立像・鑄造十一面観音立像・木造地蔵菩薩坐像・松平重治寄進状) (2)東明寺(木造十二神将立像) (3)光明寺(木造釈迦如来坐像・両脇侍坐像) (4)金蔵院(木造地蔵菩薩立像)</p> <p>第3回目は平成20年10月28日(火)に、市役所5階502会議室にて開催。議題としては5点。</p> <p>(1)仏像の指定物件の検討 円鏡寺木造阿弥陀如来坐像・金蔵院木造地蔵菩薩立像・宝竜寺木造地蔵菩薩坐像 (2)岩谷堂やぐらの指定について (3)多田元吉生誕地の指定について (4)第一海堡・第二海堡の今後の扱いに関する意見 (5)その他</p>

第4回目は平成21年3月6日(金)に、市役所5階503会議室にて開催。議題としては5点。

- (1) 平成20年度文化財調査状況報告
- (2) 平成20年度文化財普及事業報告
- (3) 市指定候補物件の確認
円鏡寺木造阿弥陀如来坐像・金蔵院木造地藏菩薩立像・岩谷堂やぐら・多田元吉生誕地
- (4) 平成21年度審議会事業の検討
- (5) その他

以上で平成20年度の文化財審議会事業報告を終わります。

野中会長

ありがとうございました。

引き続き議題(2)平成20年度文化財保護事業報告について、事務局より説明願います。

小沢文化係長

それでは資料の3ページをご覧ください。

～資料をもとに事務局による説明～

○天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業

実施額 2,734,000円

(君津市・富津市の共同事業、総額4,971,000円)

- 事業概要：①被害防止…既設電気柵の維持管理
被害多発時期の追上げの実施
被害実態調査
- ②生態調査と個体数管理
 - ③環境変化と生息環境調査

事業委託先：天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業調査団

○市内遺跡発掘調査事業(国庫補助事業)

実施額 3,283,000円

- 実施概要：個人住宅建設及び学術調査に伴う確認調査
- 三条塚古墳 80/1,203 m²
(後円部北東の外周溝外縁部確認調査)
 - 上野遺跡3 13/164.4 m²
(古墳時代前期集落跡確認調査)
 - 九条塚古墳 77/545 m²
(前方部外周溝確認調査)
 - 弁天山古墳 64/257.83 m²
(後円部北西側盾形周溝確認調査)

計 4 件 234 / 2,170.23 m²

調査主体 富津市教育委員会

内容については、前回の審議会で報告しましたので割愛させていただきます。

○市内遺跡発掘調査報告書刊行

実施額 353,850 円

刊行部数 300 部

今年度の調査成果と、平成 19 年度に実施した百目木古墳と武平塚古墳の内容についても合わせて収録しています。

○民間開発発掘調査事業

実施額 1,880,000 円

- ・ KDDI(株)携帯電話基地局建設に伴う発掘調査

北笹塚遺跡 4 255.3 m²

- ・ 北笹塚遺跡 4 発掘調査報告書刊行 300 部

○文化財周知板設置事業

実施額 75,810 円

事業概要：市指定文化財説明板の設置 2 か所

- ・ 正珊寺・小笠原氏の墓所（富津市西川）

- ・ 浄信寺・保科正景の墓（富津市青木）

いずれも既設のものが劣化したことによる付替えです。

○まちづくり交付金古墳案内人育成支援事業

内裏塚古墳群古墳説明板の設置 2 か所

実施額 200,000 円

- ・ 内裏塚古墳（富津市二間塚）

- ・ 九条塚古墳（富津市下飯野）

いずれもカラーの図面を入れた説明板となっています。カラーを使用したものとして富津市では初めての試みです。

○まちづくり交付金史跡案内板設置事業

実施額 289,800 円

- ・ 史跡案内板の設置 1 か所（2 本）

（国指定史跡内裏塚古墳誘導標識）

設置場所：富津市大堀地先（市道川岸富津公園線）

○富津市指定文化財保存整備事業

- ・ 飯野陣屋濠跡草刈及び樹木伐採

実施額 200,000 円

- ・ 内裏塚古墳墳丘部樹木伐採

	<p>実施額 180,000 円</p>
野中会長	<p>平成 20 年度の文化財保護事業報告は以上です。</p> <p>ただいま報告を受けた件について、質問等をお受けします。何かございますか？</p> <p>では私から一つ質問します。 古墳案内人は現在、何人程いるのか？</p>
小沢文化係長	<p>今現在 22 人です。</p>
野中会長	<p>他になければ次の議題に移ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議題（3）平成 21 年度文化財保護事業について <p>事務局より説明願います。</p>
小沢文化係長	<p>それでは資料の 5 ページをご覧ください。 ～資料をもとに事務局による説明～</p> <p>○天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業 予算額 2,734,000 円 事業内容：①被害防止事業 ②生態調査と個体数管理 ③環境改変と生息環境調査 事業委託先：天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業調査団</p> <p>○市内遺跡発掘調査事業（国庫補助事業） 予算額 3,403,000 円 （うち 300,000 円は事務機器借上げ料） 実施内容：①個人住宅建設等に伴う確認調査 300／3,000 m² ②重要遺跡範囲確認調査 ③富津市文化財集報作成（302,400 円） 調査主体 富津市教育委員会 昨年度の市内遺跡発掘調査事業費に比べれば 200,000 円の減となっていますが、代わりに富津市文化財集報の刊行費が付いています。これは今まで富津市の事業として発掘調査したにもかかわらず、まだ報告書が出ていないものの報告用に予算化されたものです。</p> <p>○民間開発発掘調査事業（事業者負担分）</p>

予算額 16,400,000 円

事業内容：各種民間開発事業に伴う確認・本調査
250/2,500 m² (確認)
2,500 m² (本調査)

調査主体：富津市教育委員会

○まちづくり交付金関係発掘調査事業（まちづくり交付金事業）

予算額 約 2,817,000 円

事業内容：都市計画道路建設事業に伴う確認・本調査
・市道青堀駅東口1号線（1,606,000 円）
・市道二間塚汐入線（1,211,000 円）

今年度からまちづくり交付金事業に伴う確認・本調査が事業化されることとなります。上記2つの道路が22年度中に開通される見通しとことから、該当遺跡を調査します。

○文化財周知板設置事業

予算額 73,000 円

事業内容：既設の指定文化財説明板の老朽化に伴う付替え並びに新規指定物件の周知板の設置 2か所（場所は未定）

○市文化財整備事業

予算額 380,000 円

事業内容：内裏塚古墳墳丘部樹木伐採
飯野陣屋濠跡草刈及び樹木伐採

○史跡案内板設置事業（まちづくり交付金事業）

予算額 1,000,000 円

事業内容：内裏塚古墳史跡案内板原稿作成
青堀駅西口と東口に設置予定の写真等を多用した情報板については、今年度は原稿までを作成する内容になります。

○文化財ガイドブック作成事業（まちづくり交付金事業）

予算額 1,000,000 円

事業内容：ガイドブック原稿作成

○古墳案内人育成支援事業（まちづくり交付金事業）

予算額 20,000 円

事業内容：古墳群ガイドボランティアの育成
講習用教材作成

さらにここには載せておりませんが、今年度計画中のものとして、緊急雇用対策事業で古墳や文化財施設の草刈・

	<p>伐採等を実施する見込みとなっています。</p> <p>以上が平成 21 年度の文化財保護事業です。</p>
野中会長	<p>ただいま説明を受けた議題（3）について、質問等をお受けします。何かございますか？</p>
小坂委員	<p>保護事業全体の予算はいくらか？</p>
小沢文化係長	<p>資料 6 ページに書いてあるとおり、文化財保護費として 40,051 千円、まちづくり交付金事業費として 2,020 千円、計 42,071 千円です。</p>
野中会長	<p>去年と比較してどうか？</p>
小沢文化係長	<p>後ほどご説明いたしますが、今年度は史跡の買上げがありますので、大幅な増額となっています。</p>
高橋委員	<p>高宕山のサルについてですが、毎年同様な調査を実施していて、蓄積された成果はどのように公表しているのか？</p>
小沢文化係長	<p>報告書によって公表しています。また、年 2 回開催している会議については、公開となっておりますので、傍聴していただくか、あるいはホームページ等をご覧いただいて内容を把握していただくことになります。</p>
高橋委員	<p>環境調査の内容を我々にも知らせて欲しい。発掘調査の報告書は我々の手元にも届くので把握できるが、サルに関しての報告書は入手できないので。</p>
小沢文化係長	<p>今後、考えます。</p>
野中会長	<p>他にありませんか？</p> <p>ないようですので、次の議題に移ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議題（4）平成 21 年度文化財審議会事業計画について
	<p>事務局より説明願います。</p>
小沢文化係長	<p>それでは資料の 7 ページをご覧ください。</p> <p>この計画については、審議委員の皆さんの話し合いで決めていただければ良いと思います。</p> <p>～資料をもとに事務局による説明～</p>

第1回の審議会は本日開催しています。

- (1) 平成20年度文化財審議会事業報告について
- (2) 平成20年度文化財保護事業報告について
- (3) 平成21年度文化財審議会事業計画について
- (4) 平成21年度文化財保護事業計画について

第2回以降の予定については、一応事務局の方で案をだしてあります。

第2回目は7月中の実施を予定してみました。

・富津市内仏像悉皆調査

濱名委員から以前ご提案のありました富津市内の仏像の悉皆調査について、行ってみてはいかがかということであげてみました。ただ、この審議会の中で行うには限界があるかとは思いますが、どうかたちで調査していくのか等、検討していただければと思います。

・指定候補物件の再踏査

・像法寺の市指定文化財となっている宝篋印塔と層塔について、組み合わせが違うのではないかと指摘がこれまでも数件寄せられています。事務局でもその内容は把握しているわけですが、修正等を含めてご検討いただければと思います。

第3回目は秋の実施予定で、博物館等の視察研修を行ってはいかがかと思います。

第4回目は年度末に実施し、毎年行っているような事業報告を中心に考えています。

以上、事務局（案）というかたちで挙げさせていただきましたので、委員の皆様でご検討いただければと思います。

野中会長

ただいま事務局から提案がありました。第2回・第3回の内容について、いかがですか？

濱名先生、仏像の調査についてはいかがですか？

濱名委員

仏像の悉皆となると市内全部が対象となるので、なかなか大変な作業となる。それこそ朝から夕方までかけて一つの寺を調査するということになるし、作業的にも大勢で行うようなものでもない。近隣では君津市や袖ヶ浦市、市原市でも行っているはず。大勢で一気に行ってしまうと良いというものでもなく、長い年月をかけながら根気よく続けていく必要がある。一体一体仏像を全て出してきては胎内

	<p>の銘文まで見落とさずに記録していくという地道な作業となるので、良いお像だけをつまみ食いの的に行うのとは訳が違ふ。富津市の場合、実施すれば必ずすばらしい成果が出てくると思う。君津市や市原市では徹底的に行ったはずなのに、やはり見落としがあった。地区を何箇所かに分けた上で数年かけながら段階的に調査していくという気構えでいなければならない。</p>
高橋委員	<p>以前、袖ヶ浦市では市史編纂事業の一環として、古文書悉皆調査を行ったことがある。やはり徹底的に行った記憶がある。年間10回程、1回に十数名の調査員を導入し、泊り込みで行ったと思う。目録も4冊程作成したと記憶する。一度そのようなものを作っておけば、後々非常に役立つものであるから、是非この機会に行ったほうが良いと思う。</p>
濱名委員	<p>文書に比べると仏像の場合はそんなに数もないし、そこまで大変なことにはならないであろう。周辺の自治体のこれまでのやり方としては、まず大学の先生に調査を委託する、そうすると兵隊として学生たちが大勢ついてくる。これを数年かけながら調査していくというやり方のようである。そうなれば費用も莫大なものになってしまうと思う。</p> <p>私が考えたのは、例えば自分であるとか、仏師の河本君であるとか、核となる人間はいるので、プラス何名かボランティアの方に手伝っていただいて進めていくという方法である。そうなれば費用も最小限で済むものと思う。</p>
野中会長	<p>いかがでしょうか？ 事務局では第2回目に案として組んであるようですが。</p>
高橋委員	<p>今回のやり方としては、濱名先生にまずそのやり方をレクチャーしていただくという時間にあてれば。実際の仏像調査のやり方について物を見ながらご教示いただくことで、今後の調査に役立てられるのではなからうか。</p>
野中会長	<p>それでは、第2回目は我々委員の研修の場に充てるということで実施したいと思う。</p>
濱名委員	<p>ただ一つ問題なのは、そのままでは調査はできないので、仏像を出し入れする作業が当然必要となってくる。これが意外と難しく、場合によっては慣れた専門家でも破損させてしまうというケースもあるようだ。高橋委員に勘違いなされないでいただきたいのは、対象物が誰にでも扱えるといったモノではないということ。古墳の調査はきちんと専門家が行うように仏像についても同じであるということ。</p>

	<p>寸法の採り方一つとってもそうであるし、撮影の仕方もまた然りである。</p> <p>調査の人数については、私の経験上、大体5～6人で行うのがベストだと感じる。</p>
野中会長	<p>それでは先程もいいましたが、まずは我々の研修の場に充てるということで実施したいと思います。</p>
高梨委員	<p>濱名先生にお伺いしたい。市内の仏像の悉皆調査を行えば、鎌倉期の造像のような仏像がまだまだ発掘していけるとお考えでしょうか？</p>
濱名委員	<p>それは何とも答えようがない。</p>
高梨委員	<p>例えば去年の光明寺の仏像でも、時代がもっと上がるといことが判ったように。</p>
濱名委員	<p>君津市・木更津市でも最近、鎌倉期の仏像が随分見つかっているのは事実である。県内では鎌倉の古い時期まで遡るものはあまりないといった認識であったものが、湊の東明寺の十二神将像も含めて中世のかなり古い時期のものが周辺でも見つかりつつある。歴史的にみてもこの地域にあって然るべきはずなのだが、今まではこの地域ではあまり見つかっていなかった。そういったものを見出していく作業によって、さらにこの地域の中世史といったものが明らかになっていくのではないのでしょうか。</p>
小沢文化係長	<p>では第2回目はどこかお寺を決めて、その仏像を見ながら調査方法等について濱名先生にご指導いただくということにいたします。</p>
濱名委員	<p>像法寺の石造物の検討ということもあるようなので、像法寺での調査ということにすればよいのではないか。</p>
小沢文化係長	<p>お寺と調整してみます。</p>
野中会長	<p>次に第3回目について、検討します。</p> <p>事務局から視察という案がありましたが、いかがでしょうか？</p>
濱名委員	<p>この時期、久留里城址資料館で建造物の企画展を催すことになっています。私もそのメンバーに加わっているのですが、久留里の寺社建築について調査・研究した成果を公表する展示構成になるようです。これを見学するのも一つ</p>

野中会長	<p>の手だと思えます。</p> <p>ただいま濱名委員から提案がありました。他にこの時期、ここでこのような展覧会が催されるといった情報をお持ちの方いらっしゃいませんか？</p> <p>とくにないようですので、濱名委員の案に決定いたします。展覧会の視察後、久留里の町中に出て社寺等、見学したいと思います。</p> <p>他にありませんか？ ないようですので、次の議題に移ります。</p> <p>・議題（５）内裏塚古墳周溝部の追加指定と土地の買上げについて</p> <p>事務局より説明願います。</p>
伊藤主査	<p>それでは資料８ページをご覧ください。 ～資料をもとに追加指定から土地の買上げに至った経緯についての説明～</p> <p>国史跡内裏塚古墳の後円部東側周溝内における既存住宅のリフォーム計画が発端となりました。平成１４年に国史跡指定となった墳丘部の隣接地であり、未指定地とはいえ当該古墳の周溝内での工事となるため、計画自体を取り下げていただき、その補償として市が買上げることになったというものです。この計画が立てられた時点では、未だこの土地は未指定であったため、国庫補助を受けるためにも、まずはこの土地を早急に国指定に追加する必要があったわけです。</p>
野中会長	<p>今の件について何か質問等ありますか？ 今後内裏塚古墳に関しては、このような方法で土地の買上げが行われていくことになるのか？</p>
伊藤主査	<p>周溝部に既存する個人住宅で、今後老朽化による建替えなどという計画が持ちかけられれば、今回のようなケースにならざるを得ないと思います。</p>
野中会長	<p>他にないようでしたら次の議題に移ります。 ・議題（６）指定文化財の再検討</p> <p>事務局より説明願います。</p>

小沢文化係長	<p>これについては個人情報扱うことにもなりますので、これより先は非公開とさせていただきます。</p> <p>一同、了承</p> <p>～議事録 非公開～</p>
野中会長	<p>最後に5. その他ということなのですが、何かございますか？</p> <p>ないようですので、事務局へお返しする。</p>
春木生涯学習課長	<p>長時間にわたり慎重なご審議ありがとうございました。以上をもちまして平成21年第1回富津市文化財審議会会議を閉会いたします。</p> <p>閉 会</p>